

公立大学法人 **名古屋市立大学**

〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1
<http://www.nagoya-cu.ac.jp>



名市大未来プラン



誇りを持ち愛される
大学をめざして



公立大学法人
名古屋市立大学
Nagoya City University

「15年後、名市大は世界をリードする大学になりたい。」

そのような強い思いをこめて「名市大未来プラン」を策定いたしました。

名古屋市立大学 理事長 学長
部 健二郎



【本学を取り巻く状況と未来プラン策定のねらい】

本学の特徴・強み

- 医・薬・看護をはじめ6学部7研究科1センターを擁する総合大学
- 附属病院における高度で先進的な医療の提供
- 教育・研究・社会貢献等への積極的な取り組み

大学を取り巻く社会情勢の変化

- 少子化社会の急激な進行による大学間競争の激化
- 社会・地域貢献の要請
- グローバル社会における大学の国際化への対応
- 文科省による「大学改革実行プラン」の策定

安定した経営基盤の必要性

- 厳しい経営状況
- 経費節減・収益確保への取り組み
- 施設・設備の老朽化への対応

時代の変化に的確に対応し、本学の強みを活かしながら、名市大の15年後の明るい未来を築いていく

名市大未来プランの策定

4つのビジョン

名古屋市が設置した公立の総合大学として、本学が今後も発展を遂げていくために、次の4つのビジョンを重視しながら、大学・附属病院の運営に取り組んでいきます。

① 誇りを持ち、愛される名市大

教育・研究・診療の環境づくり
全ての市民、学生、教職員、同窓生、その家族が誇りに思い、愛情の持てる名市大を目指し、そのための環境づくりを行います。

② 名古屋市と共に発展する名市大

名市大の明るい未来づくり
15年先を見すえた名古屋市総合計画2018に記載される名市大の取組みを踏まえ、名古屋市との強い連携のもとに未来像の実現に取り組みます。

③ 戦略性を持って世界に飛躍する名市大

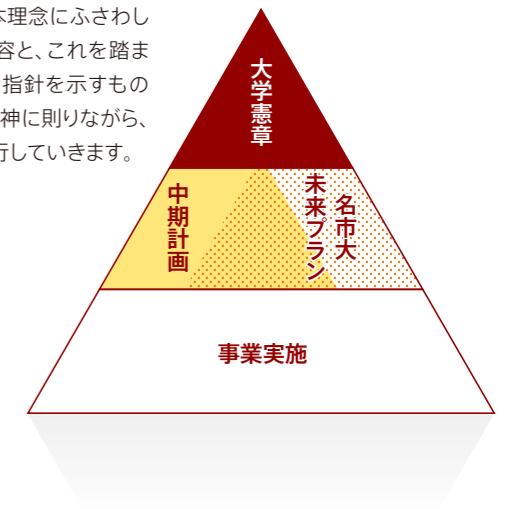
和、実行力、戦略性、透明性のある大学づくり
世界的な研究教育拠点を目指し、経営や設備の高度化・最新化を図るなど、戦略性をもって挑戦します。

④ 経営基盤が安定した名市大

経営改善に向けた体制づくり
本学の厳しい財務状況を踏まえ、教職員が収入の増加や経費の節減を図るとともに、名古屋市においても支援が拡充されるよう、十分に協議します。

【大学憲章と名市大未来プランの関係】

大学憲章は、本学の基本理念にふさわしい長期的・普遍的な内容と、これを踏まえた本学関係者の行動指針を示すものです。この大学憲章の精神に則りながら、名市大未来プランを実行していきます。



名古屋市立大学の明るい未来 — 未来プラン —

I 総論 — 誇りを持ち、愛される大学を目指して —

- (1) 愛校心の醸成・開学70周年(2020年)に向けた気運向上 (期間: ii)
- (2) 世界をリードする大学への発展 (期間: ii ~ iv)
- (3) 名古屋市との連携強化 (期間: i ~ ii)
- (4) 名古屋市総合計画2018への名市大の取組みの掲載 (期間: i)
- (5) 新学部の設置 (期間: ii ~ iii)
- (6) 分散したキャンパスの統合 (期間: ii ~ iv)
- (7) 新学部棟の建設 (期間: ii ~ iv)
- (8) 環境アクションプランの策定 (期間: i ~ ii)
- (9) 他大学との連携強化 (期間: ii ~ iv)

II 教育

- (1) 多面的な教養教育の実施 (期間: ii)
- (2) 学部・研究科、大学間連携プログラムの推進 (期間: i ~ ii)
- (3) 学生数・教員数の増加 (期間: ii ~ iii)
- (4) 学生支援のワンストップ化 (期間: iii ~ iv)
- (5) 学生のキャリア形成・就職支援の充実 (期間: i ~ ii)
- (6) 障がいのある学生、被災学生、外国人留学生などに対する支援 (期間: i ~ ii)
- (7) リカレント教育の充実 (期間: ii)
- (8) 総合情報センター・図書館の充実 (期間: ii ~ iv)

期間	内容
i	1年以内に実現させる事項
ii	今後4年間(平成29年度末まで)に実現させる事項
iii	今後8年間(平成33年度末まで)に実現させる事項
iv	15年後を見すえながら実現に向けて取り組む事項

III 研究

- (1) 全学的な研究推進機関の設置 (期間: ii)
- (2) 戦略的な外部資金の獲得 (期間: ii)
- (3) 特別研究奨励費の戦略的配分 (期間: ii)
- (4) 共用研究施設・設備の充実 (期間: ii)
- (5) 看護実践研究センターを中心とする学際的研究の推進 (期間: iii)

IV 社会貢献

- (1) 全学的な社会貢献の推進 (期間: ii)
- (2) 研究成果の社会への還元 (期間: ii)
- (3) 地域と育む未来医療人「なごやかモデル」事業の成功 (期間: i ~ ii)
- (4) 「すこやかなごや」事業の実施 (期間: i ~ ii)
- (5) 名古屋市教育委員会との連携強化 (期間: i ~ iii)
- (6) 高大連携の推進による地元の優秀な学生の育成 (期間: ii ~ iii)
- (7) 名古屋市との協働関係の強化 (期間: ii)
- (8) 地域に開かれた大学 (期間: i ~ ii)

V 国際化

- (1) グローバル化アクションプランの策定 (期間: i ~ iii)
- (2) 国際交流センターの充実 (期間: i ~ ii)
- (3) 生物多様性研究の国際的な拠点づくり (期間: ii)

VI 附属病院

- (1) 市民の医療ニーズに対応した医療提供体制の強化 (期間: i ~ ii)
- (2) 高度医療提供のための病院施設等の再整備 (期間: ii ~ iii)
- (3) 臨床研究の強化による新しい医療の創出 (期間: i ~ ii)
- (4) 地域社会を担う優れた医療人の育成 (期間: i ~ ii)
- (5) 安定経営のための経営改革の推進 (期間: i ~ iii)
- (6) 東部・西部医療センターとの連携強化による名古屋市全体の医療機能の充実 (期間: ii ~ iii)

VII 大学経営・財務内容の改善

- (1) 全学的な意思決定の体制整備 (期間: i ~ ii)
- (2) 戦略的な企画運営 (期間: i ~ ii)
- (3) 資産の有効活用と自己収入の確保 (期間: i ~ iii)
- (4) 運営費交付金の安定的確保 (期間: i ~ ii)
- (5) 施設整備にかかる財源の確保 (期間: ii ~ iii)
- (6) 国への制度改正要望 (期間: i ~ iii)

VIII 業務運営の改善

- (1) 法人評価における認証評価結果の活用 (期間: ii)
- (2) 本学の知名度向上 (期間: ii)
- (3) 大学教職員の人材育成・登用 (期間: i ~ ii)
- (4) 教職員への定年後における活躍の場の提供 (期間: ii ~ iii)
- (5) 女性教職員の積極的な採用・登用 (期間: ii)
- (6) ワーク・ライフ・バランスの推進 (期間: ii)
- (7) サバティカル制度の試行 (期間: ii)